

熊歴情報

第 235 号

2025. 1. 10

熊野歴史研究会 会長 松本 純一

(事務局) 〒647-0043 新宮市緑ヶ丘 1-8-52

山本 殖生

TEL 0735-21-7500 (自宅)

090-7290-1953 (携帯)

FAX 0735-21-3370

◎熊野川宣旨帰り付近を探索

- * 10 月 21 日午後から、本会副会長の荘司健さんの川船に役員ら 7 名が乗せてもらい、宣旨帰り周辺の川沿いに残る古道を調べました。
- * 川船でないと行けないような崖っぷちに造られた古道。洪水や崖崩れで分かりにくくなっていますが、川沿いに大きな石を並べた古道を、いたるところで確認することができました。
- * 江戸時代の「熊野川図」(和歌山県立博物館蔵)にも描かれる宣旨帰り周辺の陸路(古道)ですが、いつ頃造られたのか気になります。中世までは陸路を利用した通行記録はありません。今後の調査・研究を待つかないのかもしれませんが。心残りです。
- * 荘司副会長さんのご指導とご奉仕に心からお礼を申し上げます。



◎吉野山を探訪してきました

- * 11 月 13 日・14 日、世界遺産つながりの吉野山探訪のバスツアーに、17 名の参加をいただきました。
- * 吉野山門前町で昼食のあと、山本殖生事務局長から「押し売り立ち話講話」。大峯山でつながる吉野と熊野。修験道発祥の地とされる山岳霊場の聖地の意義を確認しました。
- * すぐに金峯山寺に。巨大な蔵王権現三体にビックリ参拝。天正年間の奈良土御門仏師・宗貞の作と言われています。
- * 熊野那智大社の小さな古神像 13 軀にも宗貞の墨書銘が確認されています。「つながるんです」。
- * 吉水神社にも参拝。源義経らゆかりの宝物などを拝見し宿へ。夕食も豪華でした。
- * 翌朝は吉野水分神社へ。落ち着いた檜皮葺の神殿が静かに迎えてくれました。
- * その後、山深い金峯神社へ。ここには金と水分の信仰があるようです。大峯山奥駈道の重要な拠点。上野一夫理事から奥駈修行の体験談を興味深く聴きました。

